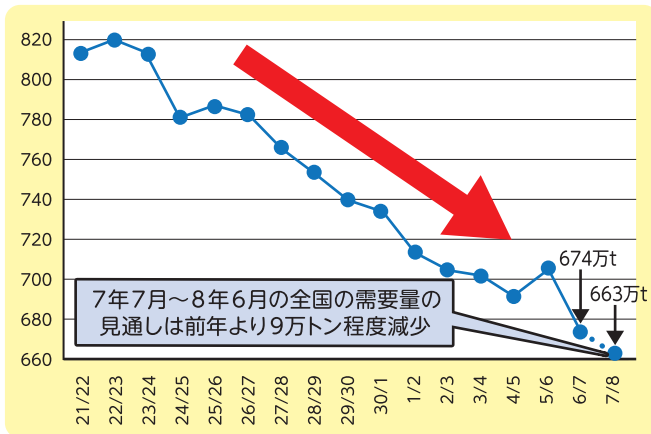


需要に応じた米生産に 取り組みましょう！

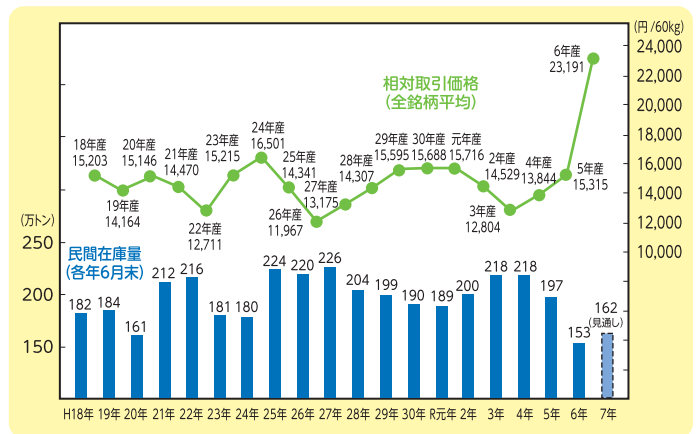


取り組みのポイント

- ①食料品全体の価格上昇に対し、米は値ごろ感があったことや、度重なる災害に対する消費者の買い込み需要により、米の在庫水準は近年で最も少ない状況となるなか、6年産米等の価格が高騰しています。
- 一方で、米価上昇による需要減少に加え、人口減少等により米需要は中長期的には減少傾向にあることから、今後の大幅な米価下落を防ぐためにも、主食用米も含めて需要に応じた作物の計画生産に継続して取り組むことが必要です。



出典：令和6年10月、米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針



出典：令和6年11月、令和7年産に向けた水田農業の取組方針

- ②生産基準数量算定の基礎となる水田台帳の整備とともに、地域の作付計画の作成と各種交付金事務の円滑な実施等に向け、引き続き**4 Pの提出**をお願いします。
- ※ 4 P：水稻生産実施計画及び作付面積確認依頼書兼水稻共済加入申込書兼変更届出書

国の制度（転作作物の作付け助成等）を最大限活用しつつ、 所得確保を図りましょう！

水稻、麦・大豆、園芸作物など地域に適した作物をバランス良く組み合わせ、**水田をフルに活用**することにより、所得の向上と耕作放棄地の解消を図りましょう。

ナラシ対策や収入保険等のセーフティネットに加入しましょう！

安定した農業経営を図るため、「**ナラシ対策**」や「**収入保険**」等のセーフティネットに**加入**しましょう。

米政策に係る

Q&A



Q1. お米の需要は減っているの？
価格への影響は？

田んぼ
2万ha分！

A1. お米の需要は、毎年約10万トンずつ減っています
(直近10年で10%以上減少)。
「需要に応じた生産」が**米価安定には欠かせません。**

Q2. なぜ「生産基準数量」は守らなければいけないの？
好きなだけ作ってはダメ？

A2. **すべての生産者が好きなだけ主食用米をつくれれば、在庫量が急増し米価の急落につながります。** 県産米の需給と価格の安定のためには、ひとり一人が「生産基準数量」を守る必要があります。県農業活性化協議会は、全国の米の需給見通しをもとに守るべき「生産基準数量」を算定しています。



Q3. 本県だけが生産調整に取り組んでも効果がないのでは？

A3. 国では毎年定期的に米の需給見通しを公表し、需要に応じた米の生産を促しています。
また、全国各都道府県においても協議会を組織して生産量の目安を設定するなど、全国的に**関係者が協力して生産調整に取り組んでいます。**



石川県農業活性化協議会 (石川県・JAグループ石川)

問合せ先：石川県農林水産部生産振興課 (TEL：076-225-1621)

J A 石 川 県 中 央 会 (TEL：076-240-5052)